

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法

科目コード : 130033

精神看護方法論 Psychiatric and Mental Health Nursing

担当教員	谷本千恵、川村みどり、清水暢子				
実務経験					
開講年次	2年次後期	単位数	2	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	30		
Keywords	精神科看護、症状アセスメント、治療的コミュニケーション、セルフケア、リハビリテーション、リカバリー、地域生活				
学習目的・目標	【目的】 精神科看護の対象となる人とその家族に対する看護実践の基本について習得する。 【目標】 1. 精神科における検査、治療、各種療法について述べるができる。 2. 治療的コミュニケーションと主な精神症状への対応について具体的に述べるができる。 3. オレム－アンダーウッド理論にもとづきセルフケアへの援助について説明できる。 4. 身体合併症を有する患者への看護について述べるができる。 5. 退院支援・地域生活支援の現状と課題について述べることができ、看護の役割について考察できる。				
授業計画・内容					
回	内容				担当
1	主な精神疾患・障害の特徴、症状と看護				谷本
2	臨床検査および心理検査、薬物療法と看護；心理・社会的療法と身体療法				川村
3	援助関係の構築；患者－看護師関係、プロセスレコードの活用				谷本
4	事例；アルコール依存症の特徴と看護				谷本
5	事例；パーソナリティ障害の特徴と看護				川村
6	身体合併症を有する精神障がい者への看護				川村
7	セルフケアおよび生きる力と強さに着目した援助、社会復帰・社会参加への支援				清水
8	精神保健医療福祉に関する社会資源の活用、多職種連携				清水
教科書	岩崎弥生／渡邊博幸（編集）：精神看護学①精神看護学概論・精神保健、第4版、メヂカルフレンド社、2015 岩崎弥生／渡邊博幸（編集）：精神看護学②精神障害をもつ人の看護、第4版、メヂカルフレンド社、2016 上田敏（著）：ICFの理解と活用、初版、萌文社、2005				
参考図書等	渡辺雅幸：専門医がやさしく語る はじめての精神医学、改訂第2版、中山書店、2015				
評価指標	定期試験（レポート）100% （授業回数の2/3以上の出席者を評価対象とする。）				
関連科目	疾病・障害論Ⅲ、精神看護学概論、精神看護方法論演習、地域精神保健看護論、精神看護学実習				
教員から学生へのメッセージ	3年次の精神看護方法論演習や実習の基礎となる科目です。				